



NPO PTPL “ともいき” 便り No.174

令和元年（2019年）7月7日発行

■小暑（しょうしょ） 令和元年7月7日から7月22日までの節気

「小暑」の節気に入りました。5月の「令和」のお祝いブームも一段落しました。今年は九州北部、四国、中国、近畿地方が異例の遅い梅雨入りとなりましたが、関東地方は例年通りの梅雨模様、連日曇天で、大雨はありませんが、傘が手放せない状況で、ジメジメと蒸し暑い日が続きます。

皆さん、くれぐれもお体ご自愛ください。

さて、7月は久しぶりの国政選挙である参議院選挙の投開票があります。候補者にはしっかりと政策論争を期待したいものですが、あまり期待できそうもなさそうです。残念ですけど。

この時季、東京では初夏を飾る風物詩が行われます。

7月6日（土）から8日（月）の三日間、入谷の鬼子母神で知られる東京都台東区下谷にて、「朝顔市」が開かれます。約100軒もの露天が出て、三日間で約40万人の人々で賑わい、東京下町の夏の風物詩となっています。江戸時代、入谷付近では朝顔が盛んに栽培されていましたが、現在では朝顔作りの農家は千葉や埼玉などに散ってしまっています。

続いては、7月9日（火）から10日（水）の二日間、浅草寺境内で「ほおずき市」が開かれます。古くから朝顔市と共に夏の風物詩として下町の人々に親しまれてきました。

浴衣着姿でうちわを片手に娘さんたちが、ほおずきを買い求める風景は、さわやかで風情があります。ほおずき市の由来ですが、源頼朝が奥州征伐の帰り、浅草で軍勢を休ませ、日射業で倒れた兵士に、ほおずきの赤い実を食べさせて元気づけたという言い伝えによります。

三つ目は、7月12日（金）、都内各所で「草の市」が開かれます。お盆に使う飾り物や盆踊り用品などを売る市として知られ、

古くは13日早朝が盛んでしたが、次第に12日の夜が賑わうようになりました。この夜は町中に早い秋の草や花が積まれ、昔の武蔵野の風情を思い出すところから、いつしか「草の市」と呼ぶようになりました。

近年は浅草・八丁堀・松屋町・神楽坂・四谷などが賑わっています。朝顔市・ほおずき市・草の市の詳細は「ともいき暦」をご覧ください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2019/>

最後はやはり7月7日（日）の五節句のひとつ「七夕」。

なぜ、7月7日なのでしょう？ 縁起の良い「陽数」とされる奇数が連なる7月7日の夕べに行われるため「七夕の節句」といいます。また、笹を用いて行事をすることから、別名「笹の節句」と呼ばれています。

年に一度、牽牛星（けんぎゅうせい）と織女星（しょくじょせい）天の川をはさんで出会うというロマンティックな伝説が中国から伝わったと一般的に言われています。

「七夕」は本来「しちせき」と読まれていましたが、いまは「たなばた」と読まれます。これは日本古来の伝説「棚機つ女（たなばたつめ）・（神様を迎えるために水辺に設けた機屋に入り、棚機（たなばた）と呼ばれる機織り機で神様に捧げる神御衣（かみこ）を織りあげる女性）」に由来するそうです。

本来の「七夕」は旧暦の7月7日（今年は8月7日）を言います。現行のカレンダーの7月7日は梅雨の真っ最中。この日はすっきりと晴れた夜空を期待し、ロマンティックな思いをはせて夜空を見上げたいものですね。

佐藤 誠（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

遅い梅雨入り。

6月26日（水）、梅雨入りの遅れている九州北部、四国、中国、近畿地方の梅雨入りが発表されました。

これで、北海道を除き、日本列島すべてが梅雨入り。観測史上、最も遅い梅雨入りだそうです。

梅雨入りと共に、奄美諸島南部の熱帯低気圧が台風になり、九州南部、四国を通り、太平洋沿岸に沿って北上しそうであるとのこと。

要注意ですね！！

水不足で困っている農家では喜んでいることでしょう！！

また、ダム貯水池に雨水がたまってくれることを期待しましょう！！

訪日外国人客。

2018年は、外国からの訪問客が3,000万人を超え、2019年には、きっと4,000万人近くまで行くことでしょう。

そう考えると東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年は4,000万人を優に超える訪問客が日本に来ると思われれます。

日本の本質であり、日本のアイデンティティである、「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」という「ジャパネスク」をこの機に、「日本」に、「日本在住の外国人に、そして「訪日外国人」広く訴え、少しでも理解してもらうことが必要だと思います。

「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」について考えてください。数多の社会問題が続出している今の世界において、それは次世代の世界の共通語になる可能性が大であると考えます。

皆さんはどう考えますか？！！

日本 2019 ジャパネスク

日本の歴史を学ぼう。

「もっと知りたい。これが日本、これも日本。」

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

- 梅雨の時季ですが、皆さんいかがお過ごしですか？ 大阪で開催された G20 も終了しました。大阪生まれの私にとって、大阪という日本で二番目の大都市が世界中に周知されたことはとてもうれしいことです。これを機に 2025 大阪万博が成功することを願います。まだまだ梅雨が続きます。お身体ご自愛ください。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp